

アーティスト・イン・今治 コーディネート業務
評価項目及び評価基準

1 基本方針

本業務の受託者の選定にあたっては、アーティスト・イン・今治 コーディネート業務委託仕様書等の関係書類を基本としたうえで、提出された企画提案書の内容やプレゼンテーションでの説明、質疑応答から各提案者の次項の審査項目について、評価を行い受託候補者の順位付けを行う。

2 評価項目、評価の視点及び配点

評価は 100 点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

評価項目	評価の視点	配点	備考
(1) 業務遂行力			
業務実績	①事業を適正に遂行できる業務実績があるか。	10	様式第3号
(2) 企画提案力			
招請アーティスト	①美術館等において展覧会の開催歴があるなど、芸術性が高く、意欲的で質の高い作品の創作が見込まれるか。	20	提案書に明記
交流プログラム	②ワークショップやアーティストトークの実施など、アートを通して子供や地域住民に体験や学びを創出する提案がなされているか。	20	
広報・宣伝	③公開制作、交流プログラム及び発表会等について、集客を図るための効果的な広報・宣伝活動ができているか。	20	
魅力発信	④まちなかの魅力向上につながる創造的な提案がなされているか。	10	
工程計画	⑤事業の工程は、妥当であって、実現性が高いものであるか。	10	
(3) 見積金額			
見積金額	①（全事業者の中での最低見積金額／提案者の見積金額）×10点（少数点以下切捨て）	10	

- (1) 前項の評価項目(1)から(2)までの評価の際には、次の表に示す評価基準に基づき A から F までの 6 段階で評価を行い、評価項目ごとの配点に倍率を乗じて得点を算出する。

評価	評価基準	配点の倍率
A	優れている	× 1
B	やや優れている	× 0.8
C	普通	× 0.6
D	やや劣っている	× 0.4
E	劣っている	× 0.2
F	要件を満たしていない。又は、示されていない。	× 0

- (2) 評価項目の「業務実績」は実績調書（様式第 3 号）の記載内容により評価する。

3 受託候補者の決定方法

選定委員会の評価に従い順位付けを行い、各委員の評価点を合算した値が最も高い提案者を受託候補者とする。ただし、合算した得点が総得点の 6 割に満たない場合は、要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者とししない。

4 最高得点を挙げた者が 2 人以上いる場合

最高得点を挙げた者が 2 人以上いる場合は、①に該当する者を、①が同得点の場合は、②に該当する者を受託候補者とする。

- ① 評価項目(2)企画提案力の得点が最も高い者
- ② 見積金額の最も安価な者

5 提案者が 1 者の場合は、選定委員会による前記審査を行い、各委員の評価点を合算した得点が総得点の 6 割を満たすときは、契約の目的を達成できるものと判断し、契約候補者として選定する。